

# Rotary

# 5

May 2022



Rotary International District 2570  
GOVERNOR's Monthly Letter

2021-2022年度 ガバナー月信Vol.11/5月号



## 青少年奉仕<sub>月間</sub>



SERVE TO CHANGE LIVES

[地区スローガン]

もっと夢を もっと奉仕を

*More dreams More service*

## ガバナーメッセージ



水村雅啓

Masahiro Mizumura

入間

2021-2022年度国際ロータリー  
第2570地区ガバナー

ガバナーメッセージとして、折節に思う  
事柄を書かせていただきます。少しでも  
皆さんの胸中にたぎりを感じるよう  
な発信をしていきたいと思ひます。

若い人達を育て一緒に活動することは、いかに大切でかつ楽しいことか！  
青少年の育成は、ロータリー活動を語る時、とても重要で大切な要素です。  
現在、少子高齢化・高度情報化・国際化・価値観の多様化などで青少年を  
取り巻く家庭・学校・地域・企業・行政などの環境が大きく変化しています。  
当地区では、「インターアクト」「ローターアクト」「RYLAライラ」「青少年交換」  
のプログラムを推進していますが、このような環境変化の中でロータリーが  
どのようなアプローチで青少年に対し奉仕活動を行っていくことができるか、  
時代にあったプログラムを真剣に考えていかなければならないと思ひます。

## New Generations Service

# ロータリーの青少年奉仕

### ■ インターアクトプログラム

インターアクトは、12～18歳の中学・高校生が地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学

び、行動力を身につけます。

1962年 RI理事会はインターアクトクラブプログラムを採択しました。同年、米国フロリダ州メルボルン高校インターアクトクラブを創立。日本では1963年に仙台市に仙台育英高校インターアクトクラブが創立されました。当地区内にはインターアクトが8つ活動しています。

### ■ ローターアクトプログラム

18歳からの青年男女のための、ロータリーが提唱する奉仕クラブです。ローターアクトクラブは通常、地域社会または大学を基盤しており、地元のロータリークラブが提唱しています。

ローターアクトクラブは、地域社会のリーダーと意見交換したり、リーダーシップと専門的なスキルを育みな



インターアクトプログラム



ローターアクトプログラム



ロータリー青少年指導者養成 (RYLA) プログラム



国際ロータリー第2570地区  
青少年交換プログラム

あなたも「小さな親善大使」として、  
高校生活を海外で過ごしてみませんか？

ロータリー青少年交換プログラムは、高校生に約1年間の海外ホームステイを通して、現地の文化・風俗・習慣・言語を学び、国際理解と国際親善を推進する人物を育てることを目的としたプログラムです。

## 青少年交換プログラム

がら、楽しく奉仕活動を行っています。ロータリーとローターアクトの会員は、世界各地で奉仕を通じて共に行動しています。ローターアクト会員は、クラブの組織、運営、資金管理、活動や奉仕プロジェクトの計画・実施を自ら決定することができます。スポンサーとなるロータリークラブが奉仕のパートナーとしてローターアクトを指導・支援します。現在、全世界ではローターアクト203,298人、ローターアクトクラブ数10,698クラブ、国数180カ国となっています。当地区内では2つのローターアクトが活動しています。特筆できるのは、川越ローターアクトクラブが日本で一番の歴史のあるクラブとして知られていることです。

### ロータリー青少年指導者養成 (RYLA) プログラム

14歳から30歳までの若者が集まり、リーダーシップ、スキル、人格を養いな

がら、奉仕・高い道徳基準・平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供するプログラムです。1959年オーストラリア・クイーンズランドRCがビクトリア女王の訪問を記念して、10代の若者たちの交流と文化・教育を中心とした1週間のお祭行事が始まりました。(「RYLAの手引き」より)1971年 RI理事会は「ロータリー青少年指導者養成プログラム」として採用しました。

当地区では、ライラ大会を毎年開催しインターアクト参加高校、ローテックス(青少年交換学友)が参加して講師の講演を聞き討論をするプログラムが定着し、リーダーシップの育成を地区として応援しています。

### ■ 青少年交換プログラム

青少年が異文化に接することは、国際理解と平和を推進する最も効果的な方法です。世界100カ国以上で

実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。

当地区の青少年交換は、昨年度はコロナウィルス感染症の影響で中止となりましたが、今年度5名の候補生には何とか実施できるよう、委員会が留学先を選定しているところです。

### ローターアクトの方針に関する最近の変更について

2019年規定審議会は、国際ロータリーの組織規定を改正し、その結果、ローターアクトクラブが国際ロータリーの加盟クラブに含まれることとなりました。それにより様々な変更がなされています。

©2022年7月1日より、ローターアクトクラブは、グローバル補助金プロジェク



## Rotaract

トで援助国側提唱者または実施国側提唱者になることができる(ただし、ローターアクトクラブがグローバル補助金で以前にロータリークラブと一緒に活動した経験があることが条件)。

- ◎ローターアクトクラブは2022年7月1日から国際ロータリーへの会費支払いを始める。年会費は、大学を拠点とするクラブは会員1名につき5ドル、地域社会を拠点とするクラブは会員1名につき8ドルとなる。新しいローターアクトクラブの加盟金50ドルは廃止される。
- ◎ローターアクトクラブは、会員の承認を得た場合、スポンサークラブの承認を得た場合、年齢制限を設定できるが、これは義務ではない(これは、

ローターアクトクラブの上限年齢の廃止に関する2019年10月理事会決定を明確化したもの)。

- ◎ローターアクトクラブは、スポンサークラブの有無に関わらず新しいクラブを設立できるようになる。
  - ◎ローターアクトクラブは、ほかのローターアクトクラブをスポンサークラブとして選ぶことができるようになる。
  - ◎ローターアクトクラブには、18歳以上のすべての若い成人が入会できるようになる。  
など、今後も多くの変更がなされると考えられます。
- 正に今、国際ロータリーは大きな変革期に立っていると思います。様々な動向を注意深く見ていきたいと思っています。



ウクライナのローターアクト

MORE DREAMS MORE SERVICE



# Rotary District 2570 2021-2022年度 地区大会

3月26日(土) 川越プリンスホテル  
3月27日(日) ウェスタ川越



2021-22年度 国際ロータリー第2570地区  
地区大会本会議



## 2021-22年度国際ロータリー第2570地区 地区大会が盛大に開催されました!

3月26日(土) 川越プリンスホテルにて、本会議に続きRI会長代理矢野宗司様ご夫妻歓迎晩餐会を開催しました。お料理とジャズとカンカラ三線を楽しみながら久しぶりにロータリーらしい親睦の時間を持つことができました。皆様の笑顔を見て、大変嬉しく感激いたしました。

27日(日)はウェスタ川越のホールで式典を開催しました。コロナ感染症拡大の影響を考え、時間を短縮しての開催となりましたが、今年度メータRI会長が提唱する「ロータリー奉仕デー」の当地区の取り組みを映像を使って紹介いたしました。37クラブが参加した11事業が紹介され、矢野RI会長代理はじめ多くの方からお褒めの言葉をいただきまし

た。コロナ禍にありながら、多くのクラブの会員が高い志を持ってロータリー精神を実践されていることに改めて感動いたしました。

地区大会を通じ、やはりロータリーはこうした機会をもって会員が対面で「学び」と「喜び」を共有することが重要だと感じました。他地区からも同期ガバナーや奥様方をはじめ11地区から総勢18名のご出席をいただきました。本当に嬉しく、心強い応援でした。思い出に残る二日間となりました。

入間ロータリークラブメンバーをはじめ大会開催関係者の皆様、そしてご参加された皆様に心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

ガバナー 水村 雅啓



NPO法人日本トンガ友好協会代表  
ラトゥウィリアム志南利様



埼玉県知事 大野元裕様



入間市長 杉島理一郎様



川越市長 川台善明様





## 東松山市・野本地区への あずま家寄贈

### 東松山むさしロータリークラブ

文: 林 好久 (東松山むさし)

Yoshihisa Hayashi  
東松山むさしRC会長



子どもから大人まで

東松山むさしロータリークラブの社会奉仕事業、あずま家寄贈除幕式に森田市長様・2570地区ガバナー水村様をはじめ関係者の皆様にご臨席頂きまして有難う御座います。この活動はロータリーの社会奉仕活動の一で、



地区補助金を利用させて頂きました。ピオニウォークあずま町の小学生が野本小学校へ通う通学路で大雨・雷等の一時凌ぎに利用、ウォーキング時の休憩所に、又お花見に利用して頂ければと考えています。

今後も社会奉仕活動は続けてまいります。次年度も407バイパス西側にあづま家寄贈を次年度会長に引き継ぎ、地域社会奉仕事業に努める所存です。(国道407号線の両側が通学路に指定されています。)

皆様に利用して頂き・管理、維持を野本地区ハートピア街づくり協議会・野本さくらの里づくり会にお願いして、(私達ロータリアンも草刈り・ごみ拾い等の汗をかく作業に協力致します。)野本地区との関係をこの事業を広め、





“ 今後に続ける奉仕活動で  
地区との関係を深め  
事業を広めてゆきたい。



ロータリー活動の公共イメージアップ  
に繋げて行きたいと思います。

あずまや周辺の環境として

当地、東松山市・野本地区は、観光  
名所が少なく田園風景が広がる東松  
山市有数のお米栽培が盛んな地域  
です。さくらの里を作ろうと8年前に区  
長会で決まり、1本1万円で植樹を御  
願ひして3年間で139本の桜の木が  
植樹されました。(写真参考)

横浜緋桜が3月末から4月初めに、  
濃いピンク色のさくらが、目に飛び込  
んできます。R407号線を高坂へ向か  
う途中の田園風景、秩父連山、富士  
山の眺望が美しく、晴天時によく見か  
ける風景です。

又四季折々の田園風景は、地元ウ

ォーカーの楽しみの一つです。

今が盛りの横浜緋桜、ガバナー月  
信をみた方は、次年度もあずまやを同  
時期に道路西側に寄贈する予定で  
すので、さくらとあずまやを是非ご覧  
ください。お待ちしております。



# 米山記念奨学部門オリエンテーション 及び第1回カウンセラー会議

文：一柳 達朗 Tatsuro Ichiyanagi (入間)



桜の木の前で記念撮影

石井成人  
推進委員会委員長

水村雅啓ガバナー



って会場に着き、受付や会場準備などをロータリアンと一緒にやって振興を深めて欲しい」とありました。

休憩後、学友委員会委員の清水洋子会員の司会と学友委員会副委員長の田久保眞理子委員の進行で恐怖の奨学生3分間スピーチが始まりました。いつもは順不同ですが今回は年度初めのスピーチなので経験豊富な2年目の奨学生から順番にスピーチしていき次いで1年目の奨学生へと移っていきました。2年目の奨学生は流石に慣れてきたのかスピーチもスムーズに行きましたが、1年目の奨学生は緊張しながらも無事スピーチを終えました。

最後に水村雅啓ガバナーより「先輩奨学生は後輩奨学生の面倒をよく見て色々教えてあげてください。分からない事が有ったら先輩奨学生に聞いてください。みなさん仲良くして国際交流して欲しい」と総評を頂きました。推進委員会委員の中嶋清委員の閉会の辞で会は終了しました。奨学生の皆さん、これから一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2022年4月3日(日)、曇りの肌寒い中「2022～2023年度第2570地区ロータリー米山記念奨学部門オリエンテーションおよび第1回カウンセラー会議」が東松山市にある国立女性教育会館にて執り行われました。

推進委員会委員の中村重継委員の司会の下、推進委員会委員長の石井成人委員長によるオリエンテーションがスタート。奨学生の皆さんは真剣に冊子に目を通しながらパワーポイントを見ていました。その後、ロータリークラブの概要や奨学生としての心構え、ロータリー米山記念奨学会・世話クラブ・カウンセラー制度、米山記念奨学部門の活動や学友会の活動などが紹介されました。2022年度の奨学生は新規619人、継続281人、合計900人の奨学生が全国にいるそ

うです(累計22,875人)。その後、奨学生には確約書の確認及びサインをしてもらい晴れて奨学生として迎え入れる事ができました。

午後からはカウンセラー会議が行われ、カウンセラーさんと奨学生との初顔合わせ。みんな緊張した面持ちでした。学友委員会委員の一柳達朗委員の司会進行で会議がスタート。水村雅啓ガバナーの挨拶後、ガバナーエレクトの村田貴紀氏、米山記念奨学会委員の加藤玄静氏からお祝いのお言葉を頂きました。「奨学生はお客様ではありません。選ばれた奨学生が勉学に励めるよう日本中のロータリアンから寄付を募ってその集まったお金で奨学金を頂いている事を忘れないでください。例会に出席する際は時間ギリギリに行かず、余裕をも



## 志木ロータリークラブ創立50周年記念事業 「まちあわせ河童」 の贈呈式・序幕式を実施

文：清水 和之 志木  
Kazuyuki Shimizu  
志木 RC 会長

**志木市とカッパ** 志木には昔から河童の昔話があり、カッパを題材として造られたカッパの像が至るところに姿を現し今ではその数36体を数え観光資源となっています。また、カッパによる町おこしはこの像だけに限らず、ゆるキャラのカッパル・カッピー等が行政、市民の手で誕生しています。



香川市長(右)へ目録を贈呈する清水和之会長

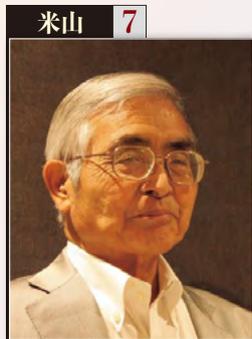
志木ロータリークラブは、1972年(昭和47年)に創立以来、昭和・平成・令和へと歴史と伝統を紡ぎながら、本年50周年・半世紀に及ぶ大きな記念すべき節目の年度を迎えました。そして、令和4年2月23日、志木ロータリークラブ創立50周年記念事業として、可愛らしく右手を上げたカッパ像「まちあわせ河童」の贈呈式・除幕式を、香川武文志木市長の立ち会いの下、駅前広場にて挙行政致しました。新型コロナウイルス感染予防の観点から残念ながら志木ロータリークラブ・志木市市役所関係者・代表者に絞っての開催となりました。

当日2月23日は期せずして、ロータリーの創始者・ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合を持ったロータリークラブ誕生の日に当たります。正に万感交際の思いです。そして、翌日の読売新聞・市民新報の紙面には「志木ロータリークラブによるカッパ像は志木駅東口だけで6体目」志木市に寄贈と報じられ、志木の新たな魅力発信、50周年記念の足跡としての記録更に公共イメージの向上にも成ったものと、うれしく存じる次第です。この「まちあわせ河童」は志木駅玄関口で行き交う方々へ向け、「いってらっしゃい」、「おかえりなさい」とまるで呼び掛けているようで、志木の河童についての話題づくりにも成り、更にコロナ禍で希薄になりがちの人々とのつながりにも貢献出来るものと願う次第です。

そして、本年度掲げたテーマ「歴史を紡ぎ 未来へ繋ぐ」を会員の皆様と共に共有し、志木ロータリークラブの歴史と伝統の下、更なる60周年に向けての新たな歴史を刻んで参ります。

# 表彰

米山 米山功労者



米山 7  
小沢経広 (川越中央)



米山 4  
長谷川健一 (川越中央)



米山 8  
内田栄信 (志木)



米山 2  
遠藤貴博 (志木)



米山 6  
久保田一男 (川越中央)



米山 3  
山崎正博 (川越中央)



米山  
榎本秀夫 (志木)



米山 3  
坂間智子 (志木)

# 新会員紹介

入 入会年月日 勤 勤務先 役 役職 生 生年月日 紹 紹介者



所沢  
**清水源太**  
Genta Shimizu  
入 2022年4月12日  
勤 株式会社  
クラフトマンスタジオ  
役 代表取締役  
生 1981年7月28日  
紹 倉方順司/本橋敬明



飯能  
**原島伊佐夫**  
Isao Harashima  
入 2022年4月6日  
勤 飯能信用金庫  
飯能中央支店  
役 支店長  
生 1965年12月5日  
紹 吉田行男



飯能  
**秦誠**  
Makoto Hata  
入 2022年4月6日  
勤 グローバルレジェンズ  
株式会社  
役 代表取締役  
生 1980年7月21日  
紹 高橋弘



所沢中央  
**野村美珠恵**  
Mizue Nomura  
入 2022年4月4日  
勤 総合警備保障株式会社  
埼玉西支社  
役 支社長  
生 1977年9月28日  
紹 金谷好高



# Commendation

PHP ポール・ハリス・フェロー

米山 5



林 康雄 (志木)

米山



赤坂匠康 (寄居)

PHP



新井聡之 (熊谷南)

米山 6



星野博之 (志木)

米山



植野智恵子 (熊谷南)



## 訃報

謹んで哀悼の意を表明し  
心からご冥福をお祈り申し上げます



神田康夫 (飯能)

✦ご逝去日：2022年4月8日(享年84歳)  
✦ロータリー歴：1989年7月入会(在籍33年)  
✦役職等：クラブ会長/I.M.実行委員長

2570パスポート

村田明美  
Akemi Murata

入 2022年3月11日  
勤 五浦工業株式会社  
役 監査  
生 1970年7月28日  
紹 村田貴紀



行田

大石理恵  
Rie Oishi

入 2022年3月3日  
勤 小沢工業株式会社  
役 代表取締役  
生 1957年11月25日  
紹 福島伸悦/大谷純一

秩父

磯部圭二  
Keiji Isobe

入 2022年4月12日  
勤 第一生命保険株式会社  
熊谷支社 秩父営業オフィス  
役 オフィス長  
生 1984年7月25日  
紹 高畑泰寿

訂正

4月号にてご紹介させて頂きました上記  
行田R.C.の大石理恵様の生年月日に  
誤りがございました。訂正し再掲載いたします。

■ 会員数・出席率 (2022年3月)

クラブ名	会員数									例 会 数	出席率	
	年 初	3 月 末 現 在	3 月 入 会 数	3 月 退 会 数	本 年 度 入 会 数	本 年 度 退 会 数	3 月 度 純 増 数	本 年 度 純 増 数	女 性 会 員 3 月 末 数		当 月	通 算
<b>第1グループ (11RC)</b>	川越	94	96	0	4	7	5	-4	2	2		
	東松山	22	23	0	0	2	1	0	1	1		
	小川	9	9	0	0	0	0	0	0	2		
	坂戸	31	31	0	1	2	2	-1	0	1		
	越生毛呂	14	14	0	0	0	0	0	0	1		
	川越小江戸	16	17	0	0	1	0	0	0	1		
	川越西	20	20	0	0	1	1	0	0	3		
	鶴ヶ島	26	28	0	0	2	0	0	2	3		
	川越中央	28	26	0	0	0	2	0	-2	0		
	坂戸さつき	21	20	0	0	0	1	0	-1	4		
	東松山むさし	43	42	0	0	1	2	0	-1	7		
	小計	324	326	0	5	16	14	-5	2	26		
<b>第2グループ (7RC)</b>	朝霞	25	24	0	0	0	1	0	-1	1		
	志木	42	42	0	0	0	0	0	0	2		
	富士見	37	34	0	0	0	3	0	-3	0		
	新座	26	25	0	0	0	1	0	-1	2		
	和光	12	16	0	0	4	0	0	4	7		
	朝霞キャロット	10	10	0	0	0	0	0	0	0		
	新座こぶし	9	9	0	0	0	0	0	0	2		
	小計	161	160	0	0	4	5	0	-1	14		
<b>第3グループ (11RC)</b>	入間	36	37	0	0	2	1	0	1	2		
	所沢	55	56	0	3	4	3	-3	1	4		
	飯能	70	69	0	1	1	2	-1	-1	1		
	新所沢	21	20	0	0	0	1	0	-1	2		
	日高	18	18	0	0	0	0	0	0	3		
	所沢西	34	34	0	0	0	0	0	0	4		
	新狭山	19	19	0	0	0	0	0	0	0		
	所沢東	45	46	0	0	2	1	0	1	1		
	入間南	43	43	0	0	0	0	0	0	0		
	所沢中央	20	19	0	1	0	1	-1	-1	1		
	狭山中央	21	20	0	0	0	1	0	-1	6		
	小計	382	381	0	5	9	10	-5	-1	24		
<b>第4グループ (11RC)</b>	深谷	56	55	0	0	1	2	0	-1	10		
	本庄	76	76	0	1	3	3	-1	0	5		
	秩父	48	48	0	1	2	2	-1	0	1		
	寄居	30	32	0	0	2	0	0	2	0		
	児玉	3	3	0	0	0	0	0	0	0		
	岡部	14	15	0	0	2	1	0	1	1		
	深谷東	65	70	0	0	5	0	0	5	0		
	川本	5	6	0	0	1	0	0	1	0		
	皆野・長瀬	10	10	0	0	0	0	0	0	0		
	2570/バスポート	2	5	1	0	3	0	1	3	3		
	深谷ノース	28	28	0	0	1	1	0	0	2		
	小計	337	348	1	2	20	9	-1	11	22		
<b>第5グループ (10RC)</b>	熊谷	89	90	0	1	3	2	-1	1	3		
	行田	58	60	1	0	2	0	1	2	6		
	羽生	43	44	0	0	2	1	0	1	4		
	加須	26	26	0	0	0	0	0	0	0		
	熊谷西	9	7	0	2	0	2	-2	-2	0		
	行田さくら	54	56	0	0	3	1	0	2	2		
	熊谷東	24	23	0	0	0	1	0	-1	2		
	吹上	7	6	0	0	0	1	0	-1	2		
	熊谷籠原	27	28	0	0	1	0	0	1	1		
	熊谷南	22	25	1	0	3	0	1	3	3		
	小計	359	365	2	3	14	8	-1	6	23		
<b>50RC</b>	男性会員数	1462	1471	1	14	53	44	-13	9			
	女性会員数	101	109	2	1	10	2	1	8			
	合計	1563	1580	3	15	63	46	-12	17			

【出席率】  
新型コロナウイルス感染防止の為、各クラブの例会が自粛されており、また、二〇一九年度の規定審議会により欠席のメークアップが拡張されており、以上二つの理由により正確な出席率の報告が非常に困難となっております。従いまして、出席率の月信報告はしばらくお休みさせていただきます。

■ スケジュール (2022年5月-6月)

日時	担当委員会名	内容	場所
5月 7日(土)	2570 地区	地区研修協議会	ウエスタ川越
5月 15日(日)	青少年奉仕委員会	オリエンテーション 閉講式	
6月 5日(日)	米山記念奨学委員会	学友総会	アルカーサル 迎賓館川越
6月 4~8日 (土~水)	国際大会		テキサス州 ヒューストン



表紙：赤岳 (2,899m)

赤岳は、八ヶ岳連峰の8つかそれ以上と言われる山頂の内の最高峰だ。その名の通り、赤っぽい色の山肌で、山容も美しい。私は、編笠山、権現岳(一泊)を経て赤岳に登頂。赤岳鉱泉で一泊して美濃戸口へ下った。山小屋の風呂とカレーライスは最高だった。しかし、山頂では雨に降られ眺望は皆無。数年後リベンジしたが、仲間の靴が破れ途中で下山した。こんな山の思い出もあるさ！(水村)

ガバナー月信 5月号  
2021-2022 年度 Vol.11

2022年5月1日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所  
〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号  
ガーデンホテル紫雲閣内

[TEL] 0493-21-2570

[FAX] 0493-21-2571

[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp

[web] https://www.rid2570.gr.jp

[月信原稿送信先]

info2021@rid2570.gr.jp

ガバナー月信編集委員会 委員長 滝沢文夫